

試験科目	人間社会研究科 福祉社会専攻 (一般選抜) (社会人自己推薦選抜) (外国人留学生選抜) (研修生)
専門科目	

試験時間 90 分

1. 下記の事項から2項目を選び、各項目について120字程度で説明しなさい。

選択した項目の記号 ( ア ) ナショナル・ミニマム

出題の意図

福祉国家の基礎的概念についての理解を問う出題

<解答例>

ナショナル・ミニマムとは、市民生活の責任に関し、国家責任はミニマム水準以下とし、それ以上は自己責任とすべきと主張した。この理論を最初に唱えたのはイギリスのウェッブ夫妻であり、その後の福祉国家の基本プランである『ベバリッジ報告』にも大きな影響を与えた。

選択した項目の記号 ( イ ) セルフヘルプ・グループ

出題の意図

社会福祉にかかわる基礎的な社会資源についての理解を問う出題

<解答例>

セルフヘルプ・グループとは、依存症や障がい、病気など、共通の生活課題を抱えている人が自発的に形成したグループである。対等な関係性の中で情報や経験を共有することで社会的に低められている状況をエンパワーメントしたり、居場所を提供する機能を有している。

選択した項目の記号 ( ウ ) 介護保険制度におけるサービス担当者会議

出題の意図

介護保険制度における利用者支援のプロセスと多職種連携の目的と意義の理解を問う出題

<解答例>

ケアマネジャーが主催し、利用者に関わる居宅サービス事業者の担当者、利用者本人、家族が参加して、利用者の居宅サービス計画(ケアプラン)の案の共有と専門的な見地からアセスメント内容との整合性や妥当性を検討し、支援の方向性を統一し、役割を確認する。

選択した項目の記号（ エ ） デフリンピック

出題の意図

障害者理解について問う出題

<解答例>

デフ (Deaf) とは、英語で「耳が聞こえない」という意味であり、デフリンピックとは、デフとオリンピックを組み合わせた造語で、国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD) が主催して 4 年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際スポーツ大会である。

2. 下記の設題から 1 つを選び、1000 字程度で論じなさい。

(各解答の最初に、選択した設題の記号を記すこと)

ア 社会福祉実践におけるソーシャルアクションの意義と課題について、具体的な実践例を取り上げて論じなさい。

出題の意図

社会福祉実践は、法律などにもとづく制度化された実践が多いが、社会福祉の課題は常に社会状況に応じて変化しており、制度化された実践だけではこうした状況に対応できない。社会福祉実践においてソーシャルアクションという視点は欠かせないものであり、この点に関する基本的な理解を問う出題

<解答例>

論文形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。解答にあたっては、①社会福祉にかかわる重要な訴訟支援活動(ex. 朝日訴訟)、あるいは地域で行われている制度化されていない課題に対する実践(ex. 外国人支援)などについて具体的にふれていること、②そうした支援が、社会福祉実践においてどういう意味を有しているかについて論述してください。

イ 令和 5 年 4 月 1 日から施行されている「こども基本法」の立法の背景と経緯、法律の目的について説明し、都道府県および市町村におけるこどもに関する施策の在り方について、あなたの考えを述べなさい。

出題の意図

近年、日本では児童虐待通報件数は増加し、いじめ・自殺・不登校・貧困など子どもを取り巻く環境は厳しさを増し、子どもの権利が守られているとは言いがたい状況が指摘されており、こうした背景から立法された「こども基本法」に基づき地域におけるソーシャルワークの在り方について問う出題

<解答例>

論文形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。解答にあたっては、①立法の背景にある我が国の子どもの施策に関わる課題について、統計や調査などの根拠に基づき示すこと、②法律の目的について記すこと、③自治体における子どもの施策の在り方について、自らの考えを示すことの 3 点を意識して論述してください。